

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,111	27.8	617	410.7	647	276.0	341	770.5
30年3月期第3四半期	5,562	△27.4	120	△76.3	172	△67.8	39	△87.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 242百万円 (△3.0%) 30年3月期第3四半期 250百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	52.87	—
30年3月期第3四半期	6.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	14,120	8,920	60.9	1,332.75
30年3月期	13,331	8,846	64.5	1,333.77

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 8,598百万円 30年3月期 8,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	29.3	896	142.5	903	91.1	524	133.7	81.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,620,320 株	30年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,168,413 株	30年3月期	1,168,393 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	6,451,917 株	30年3月期3Q	6,451,975 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、度重なる自然災害に見舞われたものの、堅調な企業業績の下緩やかな回復基調を維持して参りました。しかしながら海外経済におきましては、米中の貿易摩擦の影響に加え欧州・中国の経済停滞、英国のEU離脱問題等、不確実性が高まっており景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは医薬品業界の動向に注視し中国・東南アジア市場拡大に向け海外展示会の充実を図るとともに、専任担当者の増強・教育にも注力して参りました。また、製造部門におきましては調達先の見直しや生産の効率化・管理を徹底し、オリジナル機のコストダウンに努めて参りました。売上高につきましては概ね計画通りに推移し前年同期比1,548百万円増収となりました。損益面におきましても、増収に加え売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比2.0ポイント改善し、売上総利益が545百万円増加した結果、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,111百万円（前年同期比27.8%増）、売上総利益は1,987百万円（同37.8%増）、営業利益は617百万円（同410.7%増）、経常利益は647百万円（同276.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341百万円（同770.5%増）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下のとおりであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では6,682百万円（前年同期比30.4%増）でありました。このうち、充填機が1,782百万円（同43.4%増）、部品が1,383百万円（同41.0%増）、改造・調整・修理が1,285百万円（同38.5%増）、一連ラインが758百万円（同190.3%増）、製剤機が365百万円（同349.0%増）と好調に推移いたしましたが、包装機は799百万円（同33.3%減）、検査装置は308百万円（同28.3%減）となりました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高428百万円（前年同期比10.8%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド284百万円（同17.8%増）、原石70百万円（同4.8%減）、パウダー64百万円（同1.5%増）、機械類8百万円（同19.4%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比789百万円増加し、14,120百万円となりました。これは主として投資有価証券が290百万円、受取手形及び売掛金が135百万円それぞれ減少する一方で、現金及び預金が801百万円、仕掛品が408百万円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比715百万円増加し、5,199百万円となりました。これは主として電子記録債務が162百万円減少する一方で、前受金が767百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比74百万円増加し、8,920百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が184百万円減少、配当金の支払いが161百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が341百万円あったことで利益剰余金が179百万円、非支配株主持分が80百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期 通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成30年5月11日公表「平成30年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,807,692	4,609,129
受取手形及び売掛金	2,672,041	2,537,031
電子記録債権	513,728	428,142
有価証券	52,290	69,639
商品及び製品	58,035	59,493
仕掛品	1,677,628	2,086,572
原材料	74,950	76,184
前渡金	562,042	803,137
その他	338,368	368,499
貸倒引当金	△3,033	△2,094
流動資産合計	9,753,743	11,035,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	544,706	517,836
土地	666,563	571,012
その他(純額)	161,101	128,999
有形固定資産合計	1,372,371	1,217,848
無形固定資産		
その他	29,041	27,058
無形固定資産合計	29,041	27,058
投資その他の資産		
投資有価証券	1,619,070	1,328,822
繰延税金資産	24,592	23,852
長期預金	1,500	—
その他	531,320	487,687
貸倒引当金	△259	△180
投資その他の資産合計	2,176,223	1,840,182
固定資産合計	3,577,636	3,085,089
資産合計	13,331,380	14,120,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729,487	1,958,071
電子記録債務	814,580	651,719
短期借入金	68,310	—
1年内返済予定の長期借入金	3,075	582
未払法人税等	96,932	131,678
前受金	1,133,343	1,900,947
賞与引当金	100,206	53,274
その他	268,759	293,748
流動負債合計	4,214,695	4,990,022
固定負債		
役員退職慰労引当金	72,740	75,890
退職給付に係る負債	24,957	16,688
繰延税金負債	140,099	86,881
その他	31,999	30,343
固定負債合計	269,797	209,803
負債合計	4,484,492	5,199,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	7,339,396	7,519,207
自己株式	△769,536	△769,556
株主資本合計	7,965,262	8,145,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645,394	461,171
繰延ヘッジ損益	△4,453	△9,278
為替換算調整勘定	△818	1,820
その他の包括利益累計額合計	640,121	453,713
非支配株主持分	241,503	322,231
純資産合計	8,846,887	8,920,999
負債純資産合計	13,331,380	14,120,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	5,562,323	7,111,128
売上原価	4,120,217	5,123,387
売上総利益	1,442,105	1,987,740
販売費及び一般管理費	1,321,119	1,369,871
営業利益	120,986	617,868
営業外収益		
受取利息	8,701	8,435
受取配当金	23,852	23,952
為替差益	6,550	—
助成金収入	—	9,459
その他	14,499	9,532
営業外収益合計	53,603	51,379
営業外費用		
支払利息	1,597	777
為替差損	—	15,751
投資有価証券評価損	—	2,070
その他	786	3,210
営業外費用合計	2,383	21,810
経常利益	172,206	647,437
特別利益		
固定資産売却益	7,743	26,580
受取保険金	—	18,788
特別利益合計	7,743	45,369
特別損失		
災害による損失	—	14,940
特別損失合計	—	14,940
税金等調整前四半期純利益	179,949	677,867
法人税、住民税及び事業税	77,650	222,592
法人税等調整額	△3,820	26,234
法人税等合計	73,830	248,826
四半期純利益	106,119	429,040
非支配株主に帰属する四半期純利益	66,934	87,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,184	341,109

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	106,119	429,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,457	△184,222
繰延ヘッジ損益	6,195	△4,824
為替換算調整勘定	△705	2,639
その他の包括利益合計	143,946	△186,407
四半期包括利益	250,065	242,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,413	154,701
非支配株主に係る四半期包括利益	69,652	87,930

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,124,460	386,323	5,510,784	51,538	5,562,323	—	5,562,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,124,460	386,323	5,510,784	51,538	5,562,323	—	5,562,323
セグメント利益	442,156	33,117	475,274	7,068	482,343	△361,356	120,986

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△361,356千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,682,963	428,164	7,111,128	—	7,111,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,682,963	428,164	7,111,128	—	7,111,128
セグメント利益	969,998	58,265	1,028,263	△410,394	617,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△410,394千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。